

# 議会だより

## 一般質問

12月8日に開会された第4回定例会では、5名の議員から5件の一般質問がありました。



北島議員

### 悪化する経済状況下における農業者支援について

北島議員

昨年は米価下落による農業者支援策として即時、玄米バラ施設利用料助成を行ったが、今年は燃油高騰や肥料を含む生産資材費の上昇など、農業者にとって厳しい経営状況が続いている中、町として何か支援策を考えているのか伺いたい。

佐野町長

国は肥料コスト上昇分の一部を、北海道は化学肥料購入費に対する助成を進めており、本町としても近隣市町の動向を踏まえ、限りある財源の中、必要とされる支援策を実施できるように検討していきたい。

北島議員

一つの検討案として農業者が使用する免税軽油への助成を提案したい。免税軽油は経営規模により許可数量が決定され公平性が高く、使用数量もJAが把握しており集計事務も安易に行える。コロナ禍前より1リットル当たり約40円値上がりしており、使用総量に対し10円の補助で約400万円、40円ならば約1600万円の財源が必要となるが、特産品の殆どを農産物が占める我が町にとって、捻出可能な金額である。この案も含め必要とされる支援策の早急な検討を要望する。

佐野町長

現在、肥料や飼料、燃油などの高騰対策として国の2次補正予算が採決され間もなく



尾崎議員

### 新規就農受け入れの備えについて

尾崎議員

現在の新規就農者の取り組みは充実した取り組み内容になっているか。

地球温暖化による災害や戦争などが要因で燃料費や資材費の高騰など重圧がかかっている中、

- ・新規就農者に対して農業経営を町はどのようなPRで就農を勧めていくのか。
- ・現在の具体的な国や道の支援状況と町の対策は。

農地や空き住宅の情報提供は、もつと行政が踏み込んで明確な発信の元に進めるべきではないか。離農調査や居住予定等、全町挙げての情報提供に協力を要請すべきと思

各自治体に臨時交付金として交付されると思われ、それらも含めた中で検討していきたい。

う。土地の経緯や条件、人間関係等、流れを持たない移住者にはすべてが後手に回っていることを認識したうえで取り組んでいただきたいが、理事者はどう思われるか。

佐野町長

農業経営については、独立経営が出来ることを前提として自己資金や農地、資材等の経費を個々の経営規模の状況に合わせて、就農に向けた相談を受けている。また具体的支援は国及び道の制度として新規就農者育成総合対策事業を活用し、研修時には「就農準備資金」就農後には「経営開始資金」の交付、町の支援は研修時に住宅家賃1/2助

成等、就農後は農地の賃借料や農地の取得に対する助成等を行っている。農地や空き住宅の情報提供、離農調査についても各担当課と情報提供を行い、協力体制を構築している。

就農に係る相談から研修・就農後まで、専任の集落支援員を中心に細かな相談も可能な限り対応するように配慮しており、今後も更に充実した内容となるよう取り組んでいくのでご理解願いたい。

#### 尾崎議員

このところの農業を取り巻く情勢は厳しく、新規で始めようとする人たちが何を指し、受け入れる側もどうPRしていくのが悩ましい。

近頃は近隣で稲作新規の受け入れをやめている市町が多くなっていると聞く。北竜町は稲作にも是非力を入れて欲しいが、来年度の離農予定件数や、空き住宅の登録状況と軒数は何処に訊いたらいいのか。

ハウス助成について、果菜は農協50%、町30%、自己負担が20%と大変助かっている。

が、稲作は農協助成がなくてその差が大きい。資材高騰の折、中古でも情報があるとありがたいと思う。

#### 佐野町長

来年度の離農予定件数はJAで、また空き住宅の登録状況等は企画振興課、地域からの情報も入っているので、それらを整理して資料を出させ



中村議員

## マイナンバーカードの交付について

#### 中村議員

マイナンバーカードの発行が開始され間もなく7年が経過する。本町においては、時間外やワクチン接種会場においても窓口を開設し、現在希望者には各戸訪問も実施している。町独自に商品券の発行もして努力してきた。

現況においての、発行状況及びマイナポイントの申請状況はどうなっているか伺いたい。

ていただきたい。ハウス助成についてもメロン農家の減少で生産が足りなくなった経緯があったが、これからも何が出来るか検討していきたい。就農相談も農業人フェアに農業委員会や生産組合からも積極的に参加しながら、ひまわりと農業の町北竜町をPRしていく。

#### 佐野町長

国民の利便性の向上や行政の効率化を図るため、平成27年度より制度が始まり、翌年からカードの交付が開始された。

マイナンバーカードは、本人確認の身分証明書、行政手続きのオンライン申請や、保険証としての利用、さらに運転免許証との一体化も検討されており利活用範囲が広がるとされている。

本町では、ポイント申請のサポートも含め、様々な形でカード申請対策を行ってきた。11月末においての申請者数は、1,187人であり人口比69.3%となっており、全道でも三番目の交付率となっている。マイナポイントについては、各自自治体の状況について公表されておらず不明だが、国全体では約56%となっている。

マイナンバーカードの申請率53.9%以上で交付金を交付するという報道もされている。今後も様々な形で普及拡大に取り組んでいく。

#### 中村議員

マイナンバーカードの普及が進まなかった一因としては、情報漏洩の心配があったものと思われるが、広報12月号で安全性の記事が掲載されていた。今回は、69.3%で空知管内ではトップ、全道でも三番目の普及率とのこと、担当者の努力と町民の協力が欠かせなかったものと思う。マイナポイントの付与対象期間が9月から12月に延長されたこともあると思うが、

その要因についてはどうなっているか。年代別の普及率がわかればお教え願いたい。

#### 細川課長

期限が伸びたことは国の方針である。年代別は把握していないが、若い人のほうが多いと思う。

#### 中村議員

未成年者の申請もかなりあると聞く。キャッシュレス決済方法には色々あるが、マイナポイントも町内で消費されればよい。マイナポイントの申請には当初の決済カードでなければ、保険証・振込口座のポイントがもらえないのか。

#### 細川課長

マイナポイントについては、それぞれ別個のカードを指定できる。

#### 中村議員

年内の申請拡大と、2月期限のマイナポイントの申請についてもサポートしてほしい。





藤井議員

## 有害鳥獣駆除対策について

### 藤井議員

町内でも鹿による車両事故が起きている。北海道全体で鹿などの有害鳥獣は増えていくと思うが、農作物の被害だけでなく人身事故なども予想され対策をお願いしていたが、駆除又は動物飛び出し看板の設置など検討されているのか、又現在の猟銃の所有者は何人いて、年代別の構成はどうなっているのか、10年後20年後はどうなるのか伺う。

### 佐野町長

本町におけるエゾシカに関する交通事故発生状況（重傷のみ計上）は、令和3年1月から12月までが3件、令和4年1月から11月末までは0件であった。

国道、道道に設置された「鹿注意の標識看板」は、雨竜に向かう恵岱別橋手前付近、反対車線は熊見坂付近（雨竜

町）、そして北竜ひまわりインター手前の両車線に設置している。

猟銃の町内の保有者については、現在6名の方が保有し、平均年齢が59.6歳である。年代別には、70代が1名、60代が3名、50代が1名、30代が1名で20年後には70代以上が5名、50代が1名となる。

エゾシカの捕獲にもご協力いただいております。令和4年4月から11月までの捕獲数39頭中、銃器による捕獲は20頭。

町としても、有害鳥獣対策の将来の担い手確保のため、有資格の地域おこし協力隊の募集に取り組んでいくので、ご理解いただきたい。



松永議員

## 令和5年度重要政策について

### 松永議員

公共施設再配置計画の検討の中で、小中学校併合の話があるがいつ頃を予定しているのか。

### 佐野町長

現在、財源調整や事業スケジュールを検討している段階であり確定ではないが、令和9年度に校舎と体育館の建て替えを完了する予定でいる。

### 松永議員

先日、まちづく等調査特別委員会でのひまわりの里の展望台基本設計の内容について説明があったが、いつ頃建設予定なのか。また、エレベーターに関する保守点検費用や展望台の管理費はどの様に捻出するのか。

### 佐野町長

特別委員会で報告したとおり令和6年度に建設し、維持管理費や運営に関する人件費

は展望台の入場料で賄う予定であるが、世界経済の先行きが不透明な中、より計画的且つ慎重な財政運営が必要であり、早急な取り組みは困難だと思っております。

### 松永議員

維持管理に必要な入場料はいくらに設定しているのか。

### 佐野町長

まだ、具体的な金額の設定には至っていないが、今後里全体の運営も含め検討委員会や議会、関係団体等と協議し決定していきたい。

## 活動報告

### 【1月】

- 1日…各神社元旦祭
- 6日…社会福祉協議会新年の集い

## 活動予定

### 【2月】

- 2～3日…第2回空知町村議会議長会総会
- 15日…北海道議長会理事会
- 21日…北海道監査委員協議会定例会
- 28日…令和5年第1回中・北空知廃棄物処理広域連合議定会例会
- 下旬…例月出納検査

- 7日…20歳を祝う会
- 10日…北竜消防出初め式
- 11日…北竜町商工会新年交礼会並びに優良勤続者表彰式
- 16日…空知町村議会議長会役員会
- 17日…総務産業常任委員会、まちづくり等調査特別委員会
- 20日…議会運営委員会、第1回北竜町議会臨時会
- 23日…例月出納検査（監査委員）、議会等OB会新年会
- 27日…団体会長会議



いよいよ、さつぽろ雪まつりの時期となった。3年前から、新型コロナウイルス感染拡大で、去年、一昨年そして、今年はずどーむ会場開催中止での開催となっている。収束に進んでいるように思うが、なかなか治まらない。

色々な団体の行うイベントが様々な形に代わって開催されて来た。感染が主催者側の責任が問われるのか。個人責任となるのか。インフルエンザのような扱いになれば、経済は回るのだろうか。ただ、お年寄りや疾病保持者など死亡率がまだ高い。新型コロナウイルス感染が広がる前の状態に早く戻って欲しい。3月は卒業式シーズンで、年度の終わりを迎える。未来に向け、一歩前に進める世の中を期待する。

(藤井 雅仁)